

水郷ひた観光親善大使
梅川壱ノ介さんが聞く

水郷ひた観光親善大使で舞踊家の梅川壱ノ介さんをインタビューにお迎えし、7月にパトリア日田で特別舞踊公演をされる歌舞伎俳優坂東玉三郎さんにお話を伺いました。

坂東玉三郎

さん 日田公演について



Photography by Caeno Ichi

——本日、僕は水郷ひた親善大使として、そして玉三郎先生の弟子として参りました。よろしくお願ひいたします。日田での公演は今回が初めてになるんですよ？

「初めてです。パトリア日田は素晴らしい劇場ですね。木材を活かした優しい場所。お客様にも優しい空間ですね。今回は初めての公演になるのですが、これはご縁でしょうか？

「僕が改名後、ご指導を頂きながら、舞踊家として活動をさせて頂いております。そこで先生の仕事に対する考え方などをお聞かせいただけますか？」

「今日何をして、そして明日何が出来るかを考える。そうやって織物を織るように一つずつ目の前にあることにベストを尽くし積み上げていくこと。それしかないと思いますよ。できないことはできないと言っています。若い時は無理も出来るかも知れないけれど、私は年齢を重ねて、とにかく実直にやることを大切にしています。あとは失礼でない程度に言いたいことははっきり言うこと。とても大切です。」

「是非このパトリア日田で、現実的な時間を忘れ、幻想的な夢の時間を過ごしてほしいです。私は舞台はパピリオンドと呼んでいるのですが、楽しんでもらえればそれが一番。パトリア日田のロビーのような素晴らしい場所であれば、舞台が始まる前から楽しめる。初めて観てくださる方も勉強などする必要はないんです。ぜひ舞台の美しさや音楽の楽しさを感じて頂きたいと思っております。」



玉三郎さん「梅川くんはここで舞踊公演をしたのですか？」
壱ノ介さん「はい、させて頂きました。」
玉三郎さん「じゃあ、私はあなたに次いでここで舞踊公演をさせて頂いたということですね。」
壱ノ介さん「先生！恐縮します…。」
インタビュー終了後、「日田市で先生の公演が行われるなんて、本当に夢のようです。国宝坂東玉三郎の世界を多くの皆さまに体感していただきたいです！」と壱ノ介さんは語ってくれました

日田市民文化会館「パトリア日田」
開館10周年記念
坂東玉三郎
特別舞踊公演
7月1日(土)・2日(日)
パトリア日田 大ホール
演目：「お目見得 口上」
「傾城 (けいせい)」 「藤娘」

